

つばさ

Tsu Ba Sa



進

理事長挨拶



日頃より、各施設をご利用いただいております皆様をはじめ、ご家族の皆様、地域の皆様、その他関係各位には、当事業団の運営に関し、格別のご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

コロナ禍も落ち着き、人的交流を伴う社会経済活動も盛んになり、社会が活気にあふれる様子を毎日に感じることができるようになりました。

事業団においても、喜ばしいことに、昨年度来、対面での各種交流事業を徐々に再開することができています。そういう中で、私たちは、それら人的交流がもたらす効果が非常に大きいこと、そして、職員には、その際に、ご利用者様をはじめ皆様との良好なコミュニケーションを醸成する能力が非常に大切であることについても、改めて認識した次第です。

そこで、本年度は、これまで以上に、各職員のコミュニケーション能力の向上を目指していこうと考えています。

具体的には、初級、中級職員、監督者研修などの階層別研修において啓発するほか、外部講師による職場づくり研修、チームワークを深めるコミュニケーション研修などの開催、その他全職員を対象とした事例研究発表会など、研修メニューをさらに拡充していきます。それらに加え、各事業所の現場におけるOJT教育を充実させることにより、コミュニケーション能力に長けた職員の育成を図り、より利用者様のお役に立てる事業団を目指していきます。

事業団は、これからも、ご利用者様はじめ関係各位、地域の皆様に愛される存在であり続けるために、職員一丸となって基本理念に掲げる「利用者主体」「健全な運営」「地域貢献」を目指し事業を進めてまいります。どうぞご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

静岡市しみず社会福祉事業団 理事長 山口明哲

ご寄附・ご寄贈ありがとうございました。

期間；令和5年7月～令和6年6月
(令和6年6月20日現在)

- 大塚 康夫 様 仁科 芳育 様
- 櫻井 嗣久 様 望月 莉奈 様
- うしおワーク保護者会 様
- うなばら学園保護者会 様
- イオン清水店 (イエローシート) 様
- 24時間テレビチャリティー委員会 様
- あいネットグループ 様
- うみのこセンター親の会 様

(順不同)





7 施設

の 進



当法人の「今年の一文字」は、新春もちつき大会の際に、理事長による書道パフォーマンスにて発表されました。「進」には、コロナウイルスの影響で止まっていた活動が少しずつできるようになってきて、2024年は一層の向上心を持って進んでいきたい。道は困難でも一步一步前を向いて進むうちに、希望にあふれた未来が見えてくるはず。という想いが込められております。

みなとふれあいセンター

(身体障害者福祉センター)

『広がる笑顔を大切に』

みなとふれあいセンターは、パラスポーツの普及のため、地域の交流館や由比、蒲原地区の体育館などに出向き、ボッチャやフライングディスクの体験教室を開催しています。



実際に体験してみると、「なかなか難しい」「狙っているところに飛んでいかない」と言いながらも、自然に笑顔があふれ、楽しい時間を過ごせています。今後も、様々な場所で、笑顔の輪を広げながらパラスポーツに親しむ取組を進めていきます。

うしおワーク (多機能型事業所)

『いつも前を向いて』

毎年恒例となった穴原荘様とのTボールの交流試合を行いました。日々の守備練習や紅白戦など練習の成果を発揮し、見事、勝利をおさめることができました。少しずつでも進歩できるようにと週に1回の練習では、皆さん、集中して取り組んでいます。勝敗も大切ですが、いつも向上心を持って、前に進むという気持ちを大切にしていきます。



うなばら学園 (生活介護事業所)

『地域の輪～そして拡がりへ』

うなばら学園では、地域の飲食店「鐘壺」「汐のや」「早川農園」「FreshClub」様にご協力いただき様々な社会体験活動を行いました。外食の際に、券売機を使用したお会計の体験をしたり、畑でみかんを収穫し、採れたてのみかんをジュースにして飲む経験もさせて



いただきました。今後も地域の方々との関わりを大切に、社会とのつながりを広げながら前に進んでいきます。



ひびきワーク (生活介護事業所)

『さらなる“笑顔”へ』



ひびきワークでは日々の生活を楽しく彩るために、レクリエーションスポーツ、書道、絵画、音楽やDVD鑑賞など様々な余暇活動を行い、自分の好きなことに取り組む時間を大切にしています。

他にも外出行事を月に一度行い、日常とは異なる場所を訪れることで、新たな発見や感動があり笑顔に溢れる時間を過ごしています。今後も皆様が参加したいと感じるような、日常に彩を添える活動や行事の計画を進めていきます。

うみのこセンター (母子療育訓練センター)

『成長の一步』

5月の活動は、“交通安全について考える”です。

大切な命を守るため「お母さんと手を繋いで歩く」「信号が青になったら左右を確認してから進む」という大事なルールを保護者の方と一緒に確認しています。

以前は、手を繋いで歩くことが難しかったお子さんもルールを守りながらのお散歩ができた姿に成長を感じ、保護者の方と共に喜びました。

令和6年度も保護者の方と一緒にお子さんの成長を喜べるよう一歩一歩進んでいきます。



なぎさホーム (生活介護事業所)

『ONE TEAM ~進めなぎさ新時代へ』

昨年度より、新たな活動として『書道』に取り組んでいます。利用者様が文字を書き、味のある作品が出来上がり、新しいことに挑戦・進んで行く事の大切さに気づきました。

今年度は、新しい職員4名が加わり、なぎさホームに新しい風を吹き込みたいとの思いから『ONE TEAM ~進めなぎさ新時代へ』をスローガンにしました。



新しい職員のアイデアも参考に、利用者様に楽しく充実した時間を過ごして頂けるようにします。

わだつみ (障害者相談支援センター)

『障害のある人が住み慣れた地域で本人らしく生活できるために』

法人内研修で「障害のある人が住み慣れた地域で本人らしく生活できるために」をテーマに研究発表を行いました。この研究を通じ、計画相談事業所と日中活動先事業所が家族状況の変化などを共有し、お互いに利用者を支えるチームの一員として連携を図り、短期入所の提案や後見制度の紹介など、緊急時に備えた体制づくりを一緒に考えることの大切さを感じました。今後も関係機関と連携し利用者支援を進めていきます。



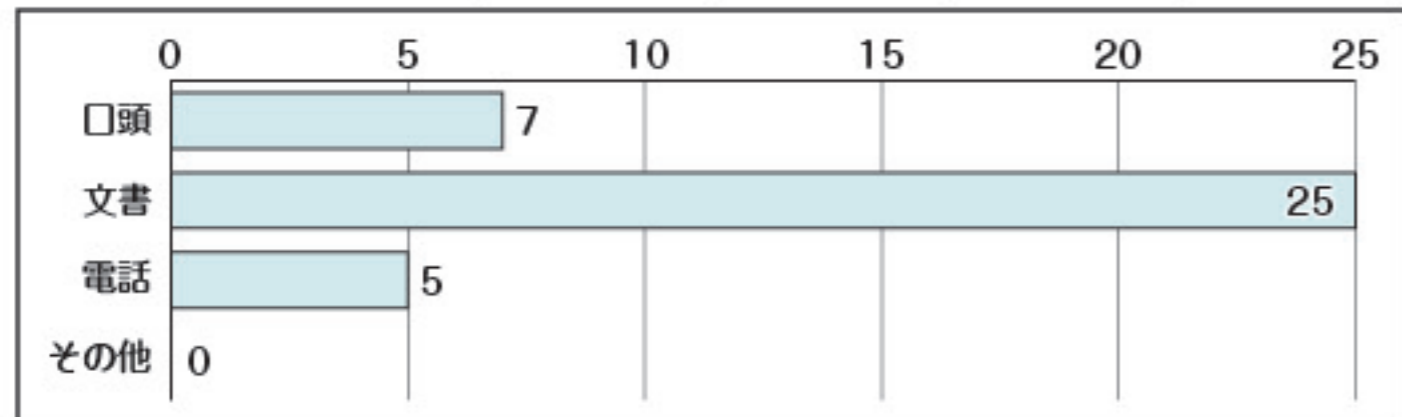
令和5年度 苦情解決結果報告

令和5年度において苦情解決責任者が解決した苦情は、各施設の総数として37件でした。

なお、個々の苦情解決に際して第三者委員に報告した案件、並びに直接第三者委員が受け付けた案件は、ありませんでした。

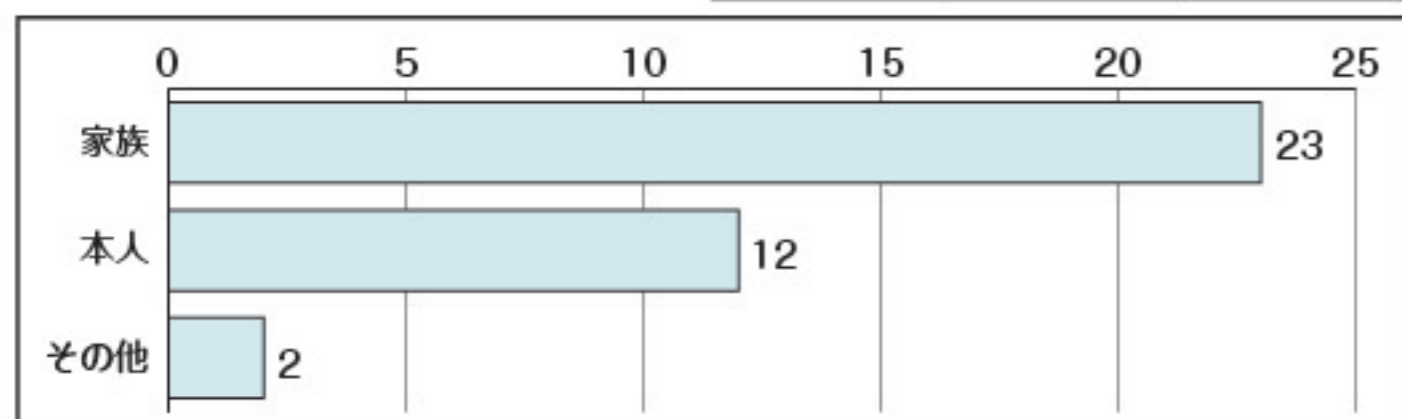
1 受付方法

口頭	文書	電話	その他
7	25	5	0



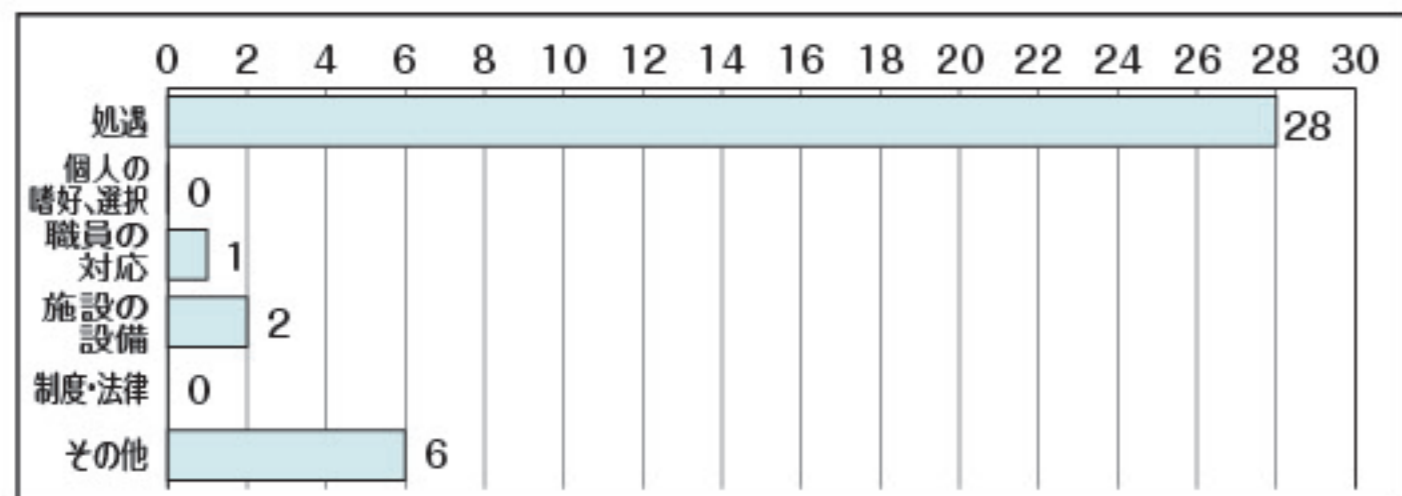
2 申出人

家族	本人	その他
23	12	2



3 苦情の分類

処遇	個人の嗜好、選択	職員の対応	施設の設備	制度・法律	その他
28	0	1	2	0	6



以上の結果を踏まえ、令和6年5月29日に第三者委員への報告会を開催し、各施設の苦情解決責任者より第三者委員へ苦情の内容等について報告を行いました。

4 分類別の主な内容

分類	内容
処遇	<ul style="list-style-type: none"> 送迎車の運転に関すること 送迎に関すること 担当職員や外部講師に関すること 支援内容に関すること 活動内容や回数に関すること 事業所便りや広報誌に関すること 感染対策に関すること
職員の対応	<ul style="list-style-type: none"> 教室開催時間に関すること
施設の設備	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場に関すること 子どもに配慮した踏み台設置に関すること 新規サービスに関すること
その他	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の行動や特性に関すること 災害対策に関すること

令和5年度決算報告

《資金収支計算書》

【単位：千円】

勘定科目		予算額	決算額	差異
事業活動による収支	収入			
	就労支援事業収入	7,675	7,088	587
	障害福祉サービス等事業収入	349,526	347,301	2,225
	その他の事業収入	38,382	38,618	△236
	経常経費寄附金収入	377	383	△6
	受取利息配当金収入	210	211	△1
	その他の収入	2,295	7,920	△5,625
	事業活動収入計①	398,465	401,521	△3,056
	支出			
	人件費支出	327,317	326,105	1,212
事業費支出	36,977	35,701	1,276	
事務費支出	32,419	29,323	3,096	
就労支援事業支出	7,675	7,147	528	
その他の支出	40	8	32	
事業活動支出計②	404,428	398,284	6,144	
事業活動資金収支差額③=①-②	△5,963	3,237	△9,200	
施設整備等	収入			
	施設整備等補助金収入	0	0	0
	施設整備等収入計④	0	0	0
	支出			
	固定資産取得支出	7,848	7,846	2
固定資産除却・廃棄支出	17	14	3	
ファイナンス・リース債務の返済支出	55	54	1	
施設整備等支出計⑤	7,920	7,914	6	
施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	△7,920	△7,914	△6	
その他の活動	収入			
	積立資産取崩収入	1,218	1,218	0
	その他の活動収入計⑦	1,218	1,218	0
	支出			
積立資産支出	557	552	5	
その他の活動支出計⑧	557	552	5	
その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	661	666	△5	
予備費⑩	1,600	—	1,496	
当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩	△14,718	△4,011	△10,707	
前期末支払資金残高⑫	364,692	364,695	△3	
当期末支払資金残高⑪+⑫	349,974	360,684	△10,710	

《貸借対照表》

【単位：千円】

資産の部		負債の部	
流動資産	370,592	流動負債	29,588
現金預金	316,838	事業未払金	7,513
事業未収金	53,304	その他の未払金	57
未収金	54	1年以内返済予定リース債務	650
未収補助金	288	未払費用	456
貯蔵品	18	預り金	248
商品・製品	54	職員預り金	1,544
仕掛品	18	賞与引当金	19,120
原材料	18	固定負債	40,741
固定資産	149,727	リース債務	2,544
基本財産	3,000	退職給付引当金	38,197
定期預金	3,000	負債の部 合計	70,329
その他の固定資産	146,727	純資産の部	
建物	0	基本金	3,000
構築物	294	基本金	3,000
車輛運搬具	11,692	国庫補助金等特別積立金	447
器具及び備品	4,876	国庫補助金等特別積立金	447
権利	519	その他の積立金	118,317
無形リース資産	3,193	事業運営資金積立金	118,317
退職給付引当資産	7,836	次期繰越活動増減差額	328,226
事業運営資金積立資産	118,317	次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	328,226 1,454
資産の部 合計	520,319	純資産の部 合計	449,990
		負債+純資産の部 合計	520,319

発行

社会福祉法人 静岡市しみず社会福祉事業団
 電話 054(335)5050
 MAIL shimizu-294@po4.across.or.jp

FAX 054(335)7821
 URL <http://www.shimizu-294.jp/>



当法人ホームページ上の施設ブログも併せてお読みいただくと幸いです。